

# 国民生活に関わる重要課題についての公開質問に対する回答書

貴政党名

日本維新の会

## 1、憲法改正についてお伺いします。

憲法は、基本的人権を守り権力の乱用を防ぐために存在しています。憲法改正の発議要件を過半数に引き下げるとは、戦争放棄を定めた9条や基本的人権を保障した25条も簡単に換えられる恐れが出てきます。憲法改正を容易にする96条改正に対する貴政党のお考えをお聞かせください。

(ご回答)

日本国憲法の制定時と、現在の我が国の経済、安全保障は激変している。国家のかたちの骨格を決めているのが憲法であり、変化に対応するためには憲法改正が必要になる。しかし、憲法の中身について国民の意見を直接聞いたことは、ただの一度もない。いわば、憲法問題は、国会議員に独占されてきたのである。

この不健全な状況を改め、国民の声を聴きやすくする必要がある。すなわち憲法第96条をまず改正し、改正発議要件を1/2とすべきである。

その上で、統治機構の改革に乗り出すべきである。すなわち、道州政府を憲法上明確に位置付け、地域のことは地域で決める体制を実現する。中央では首相公選制や衆参合併による一院制を導入し、国民の意思を反映しやすい統治機構を構築する。

最後に、憲法9条は、特に議論が繰り返されてきた条文である。まずは憲法9条を変えるべきか維持すべきかについて、国民の意見を聴くべきであると考えている。

## 2、TPP 交渉への参加問題についてお伺いします。

各種世論調査でも、TPP 参加に反対・慎重にとの声が上がっています。私たちは、国民皆保険の形骸化をはじめとしたあらゆる分野の規制緩和、「安全」の後退を増幅しかねない TPP 交渉への参加に反対しています。貴政党のお考えをご回答ください。

(ご回答)

TPP 交渉には参加し、自由貿易圏の拡大という観点から積極的に交渉を行うべき。ただし、国益に反する場合は反対。

## 3、原子力発電所再稼働問題についてお伺いします。

私たちは、原子力発電所再稼働反対はもとより、原発即時ゼロ、再生可能エネルギーへの転換を求めています。貴政党のお考えをご回答ください。

(ご回答)

先進国を主導する脱原発依存体制を構築することが、3・11後の日本の国際的な責務である。

まず、過渡期マネジメントとして、除染や福島第2原発の廃炉へ向けた技術的課題の解決を行いつつ、電力需給調整を市場原理にもとづいて行う仕組みの導入を目指す。あわせて、安全規制、使用済み核燃料の総量規制や損害賠償のルール化を含む、脱原発依存メカニズムを構築する。こうして、原子力発電の本当のコストの「見える化」を実現する。中長期的には、発送電分離を実施し、発電所間の競争環境を導入します。自然エネルギーをはじめとする再生可能エネルギーと、原子力発電を”市場”で競争させる環境を整備する。市場価格による競争を通じて自然エネルギーへの移行が進み、脱原発依存が実現するものと予想している。なお、既存の原子炉による原子力発電は2030年代までのフェードアウトを目指す。

#### 4、医師・看護師をはじめとした医療・介護労働者の夜勤改善・大幅増員についてお伺いします。

私たちは、安全・安心の医療・介護を実現するためにも、働き続けられるためにも医療・介護労働者の夜勤改善・大幅増員など、労働環境改善が不可欠だと考えております。貴政党のお考えをご回答ください。

(ご回答)

現在の医療や介護の現場における長時間労働は、サービスの品質にも影響を与えかねない危険な水準にある。ITの活用による生産性向上や、医療拠点の集約化など、様々な施策の組合せにより早急に改善する必要があると考えている。

#### 5、働く者の賃上げ施策についてお伺いします。

個人消費の拡大による実体経済の改善には、何より賃金の引き上げ、底上げが重要です。働く者の賃金の引き上げにむけた貴政党の政策をお聞かせください。

(ご回答)

世界経済の一体化により、我が国は全世界と競争を行っている。  
競争力を損なうことなく賃金を上昇させるために必要なのが生産性向上である。ITの利活用、規制緩和等を組み合わせることで高い生産性向上を達成し、賃金上昇へつなげたい。

(原文ママ)